

テープ 貼り付け 要領

兵車協 調査研究委員会

◆工具、作業環境について

- ・ 無風状態が理想、ほこりの少ない所で貼り付ける。作業者は作業服、手をきれいにしてから作業すること。接着面保護紙をはがす時に埃を静電気で吸い寄せるため。
- ・ 必要工具は工業用ドライヤー(加熱用)、スクレーパー、針。カッター、脱脂用品
- ・ スクレーパー等圧着工具は、柔らかい布等でカバーする。
- ・ 張付部の塗膜面のブツ ピンホール等は、#800 前後できれいに落とし脱脂する。

◆ブラックアウトテープについて

- ・ 位置決めは、元ドアを参考にし 縁の巻き込みしろを計算して決める。
- ・ 寒い時は、サッシュを温める。
- ・ 寒い時は、縁の巻き込み部分をヒーターで加熱すると折り込みやすい。
- ・ 暑い時は、テープが伸びるのであまり引っ張らない。
- ・ トヨタ、日産、ホンダ系の表面保護シールの無いテープはある程度やり直しがきく。
- ・ エスティマ等の表面保護テープ&艶ありタイプは、硬いので圧着を強めに行う。
- ・ 位置決め後は、一気に貼り付ける。
- ・ 角の重複するところは、過熱でテープを柔らかくして 角を作らず圧着させる。
- ・

◆透明テープ (ストーンガード) について

- ・ 絶対にテープ貼付面(、粘着部)に触らない。(指紋、汚れが付くから)
- ・ 貼付部の塗装肌が、なめらかであることを確認する。(みかん肌のように白くなり易い)
- ・ 石鹼水を使用する。水に対して1～2%程度。指で触ると僅かにヌルヌルする程度
- ・ ボデー、テープ双方にたっぷり石鹼水を付ける。
- ・ 直射日光での作業は避けること。
- ・ 角やプレスライン部分は、しっかりと押して石鹼水を内側から外側に押し出すようにする。
- ・ また 浮きやすいので、しっかり 圧着しながらボデー形状に沿わせること。
- ・ 貼り付けた後は、乾くまでなるべく触らないこと。

他にボデー、テープの双方を加熱し、石鹼水を使わない手法もあります。